

アザシチジン療法

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# アザシチジン療法

4 週毎      コース予定

疾患名      骨髄異形成症候群

主治医      指導医      HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)  
スケジュール

	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7
ビダーザ(アザシチジン) 75 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

- 【注意】 \* 原則として皮下投与を実施、出血傾向等により皮下投与が困難な場合は、点滴静注を行う。
- \* 皮下投与を行う場合、投与直前に再度均一な懸濁液とし、投与量に応じて複数個所に分けて投与すること。
- \* アザシチジンは希釈後、経時的に安定性低下のため 1 時間以内に投与を終了すること。  
アザシチジン投与開始直前に、薬剤部へ調製開始の連絡、投与経路の確認を行う。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

## ●皮下投与の場合

day 1-7

- ① グラニセトロン内服ゼリー (2mg)      1 包      内服  
    ☆30 分後より
- ② ビダーザ      + 注射用水 20 mL      皮下注射

注意:ビダーザは1バイアルを注射用水 4mL に溶解後(濃度:25mg/mL)、  
必要量(      ) mL を抜き取る。

アザシチジン療法

●点滴静注の場合

day 1-7

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持  
 ② グラニセトロン内服ゼリー (2mg) 1包 内服

☆30分後より

- ③ ビダーザ + 注射用水 20 mL + 生食 50 mL 点滴静注 10分

注意:ビダーザは1バイアルを注射用水 10mL に溶解後(濃度:10mg/mL)、  
 必要量( ) mL を抜き取り、生食 50mL に希釈して使用する。

◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュして抜針

	コース目						
	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7
月日	/	/	/	/	/	/	/
ビダーザ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認							

	コース目						
	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7
月日	/	/	/	/	/	/	/
ビダーザ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認							

	コース目						
	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7
月日	/	/	/	/	/	/	/
ビダーザ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認							